

〈学習の導入〉

- ・ 挨拶。腰を立てて。

- ・ 「かきこじぞう」今日で四回目です。

T 家で読んでみた人。(大半挙手。)

ノートを開いてみた人、いるかな(二名ほど挙手)。すばらしい。なかなかできないけれどやってごらん。他のお勉強でも、ノートを開くことをやってみるといいと思うよ。

- ・ 読む場面と読む人の確認。

- ・ 読む人は立って大きな声でゆっくり。聞く人はしっかり聞く。

T 毎日読んでもらうけど、みんな上手に読めるね。明日までだけど、まだ読んでみてね。

T じいさまとばあさまは、大みそかなのにもちこの用意が？

C できない。

T それでやったことは。

C もちつきのまね。

T もちつきのまねをやった人は。 C じいさま。

T すぐ、合わせてくれた人がいました。だれだった。 C ばあさま。

T じいさま、もちつき。ばあさまは。

C あいどりのまね。

T 両方やらないと、もちつきはうまくいかないんだよ。

じいさまとばあさまは一緒にやったんだ。一緒にやったことが分かる平仮名が一つあるんだ。何か分かりますか。

C もちつき。

T いっしょにやったことを表す平仮名なんだ。

C じ？ C も。

C ああ、じいさまも、ばあさまも。

T そう、二人でやりましたよ。二人でやったこと、まねの他にもあったよ。最初にやった。

C かきこを一緒に作った。

T そう、かきこを一緒に作った。これもじいさまとばあさまは一緒にやったよ。じいさまが一人でやったけど、ばあさまも喜んだことがあったよ。何だった。

C じいさまが、じぞうさまにかきこをかぶせた。

T どうですか。いいね。これはじいさまがやったけど、ばあさまもいいことをしなすった、と喜んだよ。じいさまもばあさまも一緒にとても大事に考えたのはだれのこと。

C お正月さま。

T 二人とも(板書「お正月さま」)お正月さまを大事にしました。あと、大事に考えたのはだれのこと。

C じぞうさま。(T 板書「じぞうさま」)

T お正月さま、じぞうさま。じいさまもばあさまもどちらも大事にして



*よむ



*とく

くれていることはお正月さま、じどうさまは分かったでしょうか。それを考えた大みそかになりました。

大みそかの夜、みなさんは何を食べました？ C そば。

T この二人は。 C 野菜の漬け物。ついな。

T つけなをかんで。飲み物は。 C お湯。

T つけなかみかみ、お湯を飲んで寝た。じいさまとばあさまのまねをした様子、じいさまとばあさまのことを考えて動き出したのはだれ。

C じどうさま。

T 何か引っ張ってきましたよ。

C もちこや、ごんぼやにんじんやだいこん。

T そういう物を積んだ・・・。

C そり。

T そりを引っ張ってきました。小さいのではないんだよ。大きいそり。そこを書いて勉強します。何番ですか。・・・七番ですね。

・書くところを指示。下がったところだけ書く。

ずっと下まで続けるのではなくて、教科書のまねをして書くといい。書き終えて教科書と違わないか確認。T児の進み具合を見守り、その後他の児童のノートを見て回る。

T 言い方が悪くて、もつと書いた人もいましたけど、みな丁寧に書いてよかったですね。鉛筆ははさんでとじて、教科書もとじて、重ねて置いてください。

みんな終わったね。それでは読みます。最初は声を出さずに読みます。・・・じゃ、大きな声で読みます。

T さて、四つに分かれているよ。(板書に番号を付ける。)

この中で、じどうさまの声でないのはどれ。

C 三番(ずっさん ずっさん)。

T 三番はじどうさまの声ではない。ほかは声だからこうするか(他の板書に「」を付ける)。

じいさまとばあさまに、始めに聞こえたのはどれ。

C 一番です。

T 何をしてる声だ。 C そりを引く掛け声。

T そりを引く掛け声、だんだん聞こえてきたよ。だんだん？

C 大きくなった。 C 近づいてきた。

T そりが止まったのはどこだ。黒板の中で考えるよ。

C 家の前。

T ここで言うは何番。 C 三番です。

T そう、ここで止まりましたよ(そのの絵を板書に描く)。

じどうさまはそりから下ろしたでしょ。重い物か、軽い物か。

C 重い物を下ろした。

T 何を下ろしたか、言えますか。一つでもいいよ。

C ごんぼ。 C みそだる。 C だいこん。 C にんじん。

T まだあるか。

C あわのもち。 C 米のもち。

T まだあるか。 C 松。



*かく

*よむ
(指黙読・指音読)

*とく



T お飾りの松もあった。ずっさん、ずっさん。何に入っていたか分かる。

C かます。

T かますはこっち（野菜のところに「かます」と板書）。

C たわら。

T たわらです。（もちのところに「たわら」の絵）。

たわらは、わらで作った物。かますは、わらを二つに折って結んだような物。重いんだよ。だから・・・ C ずっさん、ずっさん。

T たくさん下ろしていってくれました。じぞうさま、じよいやさ、じよいやさ、とそりを引つ張つてきてくれたでしょ。じいさまの家、すぐ分かった？

C 掛け声を出して、じいさまとばあさまの家が分かった。

T そうか、すぐには分からなかったよね。探していたことが分かる言葉あるよね。

C どこだ。

T じぞうさまの歌を聞いたら、かさこをかぶせてくれたのはだれだった。

C じいさま。

T でも、ばあさまと一緒に喜んでくれたのをじぞうさまは分かっているでしょ。どれですか。

C ばあさまの家はどこだ。

T そう。ちゃんと言っているよね。じいさまとばあさまは、たくさんじぞうさまからもらって、よい正月を・・・？

C むかえることができました、と。

T じぞうさま、戻っていきます。最初の「じよいやさ」と帰りの「じよいやさ」、力が入っているのはどこだ。

C 一番。

T こっち（四番）は下ろしたから、（力が抜けて）いいね。
読んで終わりにしよう。一番は力があるぞ。

*よむ

